

科目	世界史B	単位数	4	学年	3	学級	選択者	学科	普通科 国際教養科
----	------	-----	---	----	---	----	-----	----	--------------

学習の到達目標	1 世界の諸地域、国々の成り立ちと今日までの歴史の変遷を学ぶ。 2 今日の国際社会における諸課題の原因と解決への道を、歴史から学び関心を持つ。
使用教科書 副教材等	教科書: 詳説世界史B(山川出版社) 副教材: NEW STAGE 世界史詳覧(浜島書店)

学期	月	学習項目	学習内容の説明
前期	4	1. 近代ヨーロッパアメリカ世界の成立	アメリカ独立革命やフランス革命とナポレオンについて学ぶ。
	5	2. 欧米における近代国民国家の成立	ウィーン体制の成立や南北アメリカの発達について学ぶ。
	6	3. 帝国主義とアジアの民族運動	帝国主義と列強の展開について学ぶ。
	7	4. 2つの世界大戦	第一次世界大戦とロシア革命・世界恐慌・第二次世界大戦について学ぶ。
後期	9		
	10	5. 冷戦と第三世界の独立	米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興について学ぶ。
	11	6. 現在の世界	社会主義世界の変容とグローバリゼーションの進展について学ぶ。
	12		中世ヨーロッパ諸国の成り立ちや文化を学ぶ。
	1	7. ヨーロッパ世界の形成と発展 (復習)	中世ヨーロッパ諸国の成り立ちや文化を学ぶ。
	2		
	3		

評価の観点及び評価の方法	関心・意欲・態度	世界の諸地域、国々の成り立ちと歴史の変遷について関心を持ち、意欲的に学習に取り組んだか。
	思考・判断・表現	世界の諸地域の今日までの歴史について、広い視野に立って多面的に考察すると共に世界の諸民族や宗教、文化について客観的に見ることができたか。
	資料活用の技能	世界の諸地域の今日までの歴史について、いろいろな資料を様々なメディアを通じて身に付け、考察した過程や結果を自分の言葉で適切に表現できるか。
	知識・理解	世界の諸地域の今日までの歴史の基本的な事項、人名、場所、年代、原因などについて、その知識を身に付けているか。
	評価方法	定期考査・授業態度等を総合的に判断して評価する。
担当教諭から	今日の世界の諸問題は過去の歴史と大きく関係しています。世界史は今日の世界がどのように成り立っていったのかを探る教科です。	